

地球市民社会を目指して 新時代のYMCAキャンプを

松田 新聞記事によると、「子ども頃の自然体験が、大人になってからの意欲の持ち方に影響する」という調査結果が出ています。また、昨年のキャンプに関する保護者アンケートでは、「楽しかった」という感想が圧倒的に多く、子どものニーズが今も昔も変わらないことに気づかされました。YMCA キャンプに対する期待をふまえ、これからの方向性についてご提案いただけますか。

川上 振り返ってみると、今から60年も前にいち早く青少年の教育キャンプの重要性に着目し、すぐさま熱心に取り組まれたことは、驚くべき先達の先見の明であり、本当にすばらしいことです。以来、熊本YMCAのキャンプは長い歴史と伝統を持ち、地域社会からも高い評価と信頼を得てきました。私たちは、これからもそれをしていかりと受け継ぎながら、期待に応えていかなければならないと思っています。

また、「明日の指導者は今日つくられる」という言葉がありますが、YMCAのキャンプの大きな特徴は、何といてもユースリーダーの存在です。野外事業(キャンプ)にとってリーダーの存在は非常に大きなものです。従って、リーダーの確保と育成、そしてリーダー自身の成長を図ることは極めて重要な要素だと言えます。

武藤 阪神大震災の時、被災地を

いう学生ボランティアの中で、率先して行動したのがYMCAのリーダーたちだったそうです。キャンプで培った自主性を発揮することで、被災地復興のために行動することができたのです。

川上 そういった意味で、YMCA キャンプとは、リーダーとメンバーが自然体験を共有し、育てる、グループワークの場と機会そのものだと思います。そして、活動の中で新しい経験をしながら自己を成長させたリーダーやメンバーが、社会に出て活躍し、やがてはYMCAの会員やレイパーソン、あるいはスタッフとなって、これからYMCA運動の担い手となっていくことを大いに期待しています。

武藤 阿蘇キャンプで活動したリーダーが、卒業後に海外ボランティアとして活躍したという話を聞きました。YMCAのキャンプが、本場の豊かさについて考えるきっかけになればうれしいですね。

また、近年は海外の人々の連泊が目立つようになりました。これは新たにアピールしていきたい点です。利用者に向けた環境教育、開発教育にまつわる自主プログラムやメニューを充実させ、地域課題に対する相談にも気軽に乗る。周辺で活動する団体や個人の情報を集め協力し合うことで、阿蘇キャンプが「地球市民育成の拠点として新たに認知されるのではないでしょう」か。

川上 様々な専門家の協力を得た活性化も考えていきたいですね。

例えば、近隣の農家の方に田植えや稲刈りの講習をしていただくなど、学校で導入されている学校支援ボランティアの制度も大変参考になります。また、キャンプドクター制度を充実させ、安全面や健康面でのサポート体制をさらに強めていくことができればと思います。

松田 今年もたくさんの子どものち、リーダーたちがサマーキャンプに参加します。地域や他の団体とも連携を図り、それぞれが影響し合っよりよいキャンププログラムづくりができればと考えています。様々な参加者のニーズにえられる体制づくりも考慮しながら、地球市民社会を目指して、新しい時代のYMCAキャンプをつくっていききたいですね。ありがとうございます。

(文責:編集部)
※地球市民とは、地球的視野に立つて考え、責任感を持って行動する市民。



■出席者:
右/武藤興紀さん(熊本YMCA常議員・阿蘇YMCA運営委員)
中/川上安生さん(熊本YMCA常議員・野外教育運営委員)
左/松田誠一さん(熊本YMCA野外教育部部長・中央YMCA館長)

YMCAキャンプに参加すると

- 1 生活する力が養われます。
- 2 良い習慣が身につきます。
- 3 健康や体力に自信がつけます。
- 4 創造力を育成します。
- 5 良い友だちを見出します。
- 6 助け合う気持ちや責任感が湧いてきます。
- 7 奉仕の喜びがわかります。

サマーキャンプ説明会

7月11日(日)
会場/東部YMCA(熊本市帯山)

夏に行われる各キャンプについて詳しく説明いたします。キャンプに参加予定の方、また、参加を検討されている方は、ぜひご出席ください。キャンプによって、開催時刻が異なりますので、事前にお近くのYMCAにお問い合わせください。



YMCAキャンプ90周年



Yes! Ycamp! 輝くいのち

REPORT

YMCA学院スポーツデイ

開催日/2010年5月21日(金)

開催場所/中央YMCA体育館・熊本県立体育館
熊本YMCA学院恒例のスポーツデイに日本語科の学生、高等学校の生徒を含め600名が参加し、フットサル、ソフトバレーボール、バスケットボールの3種目で熱戦を繰り広げました。運営の中心を担った生涯スポーツ科の2年生は「参加者が積極的にスポーツに取り組み、協力してくれたので、とても素晴らしい一日でした」と感想をもらいました。



企業人がボウリングでチャリティ

開催日時/2010年6月9日(水)18時45分~21時10分

開催場所/マスターズボウル熊本

児童養護施設の子どもたちをディキャンプに招待しよう、YMCAファイランソロピエ協会主催のチャリティボウリング大会が開催され、仕事帰りの企業人約120名がチーム対抗でスコアを競い合いました。恒例のストライク募金に加え、設立15周年を記念したチャリティ抽選会も行われ、参加者は楽しみながらチャリティ活動を実践しました。

